

# 芦屋市ごみ排出量実績

## 1 目標達成の状況

### (1) 芦屋市における目標値の達成状況

現行基本計画における本市のごみ排出量の目標設定値と実績値を比較した。

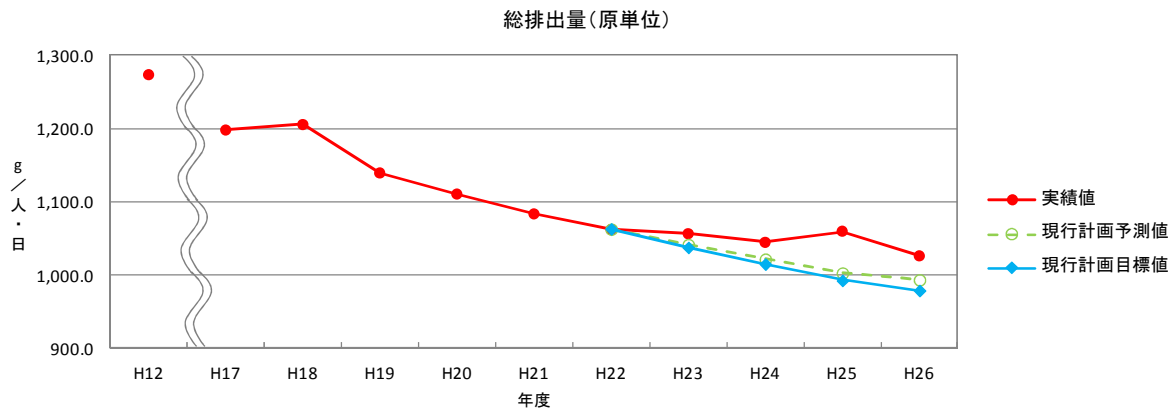
#### ① 総排出量原単位

(目標設定値)

基準年度 平成 12 年度に対して，中間目標年度 平成 27 年度に約 25%減

(実績値)

平成 26 年度において未達成であり，平成 27 年度においても達成は，困難と考えられる。



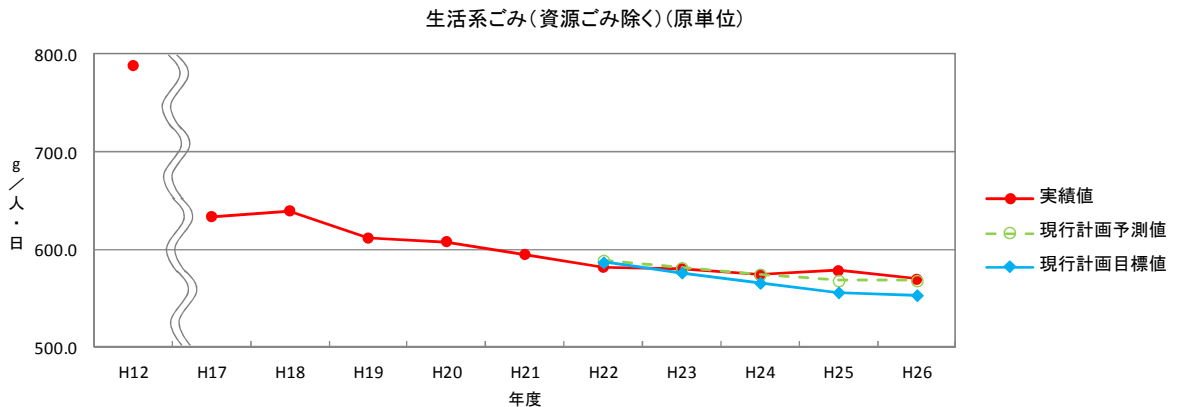
② 生活系ごみ排出量（集団回収ごみ，資源ごみ等除く。）

（目標設定値）

基準年度 平成 12 年度に対して，中間目標年度 平成 27 年度に約 30%減

（実績値）

現状，現行計画予測値とほぼ同様の傾向で推移しているが，目標値達成は，困難と考えられる。



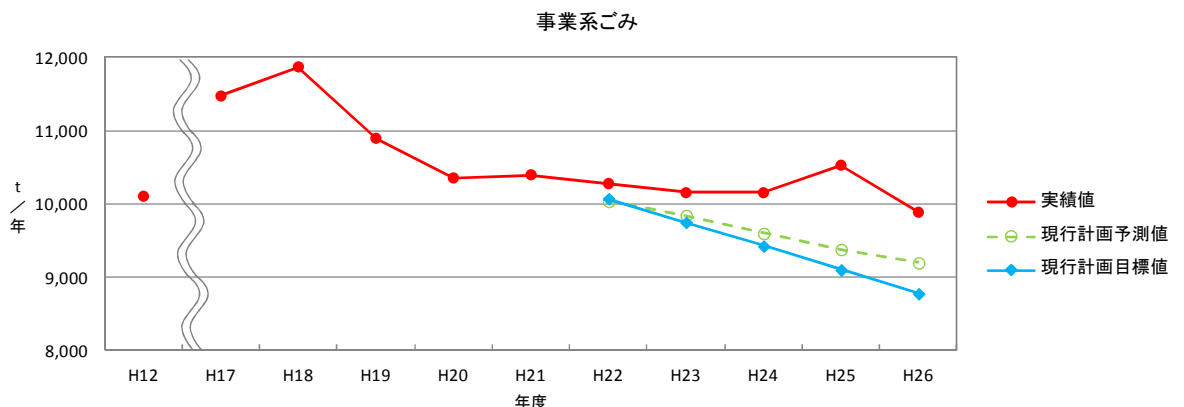
③ 事業系ごみ排出量

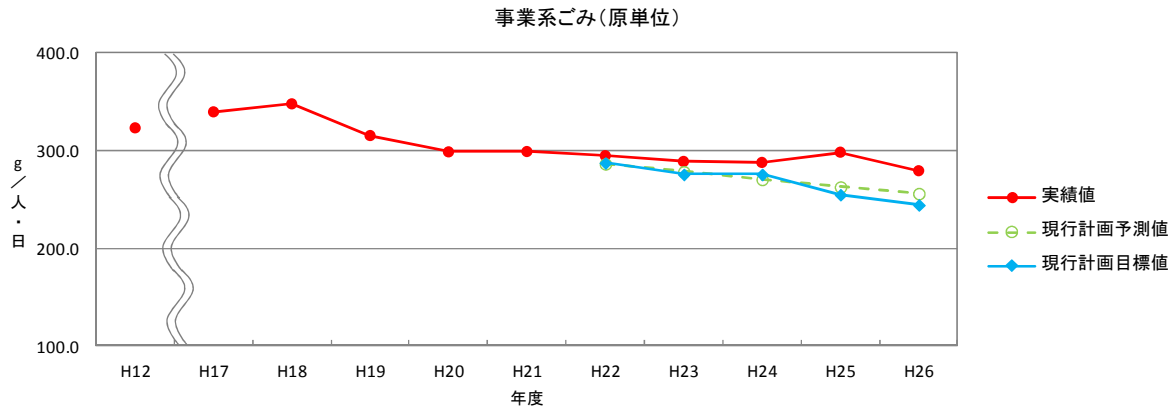
（目標設定値）

基準年度 平成 12 年度に対して，中間目標年度 平成 27 年度に約 20%減

（実績値）

平成 18 年度から平成 20 年度までは，減少傾向にあったが，それ以降は増減を繰り返し，平成 26 年度では，目標値から大きく乖離しており，中間目標年度 平成 27 年度においても達成は，困難と考えられる。





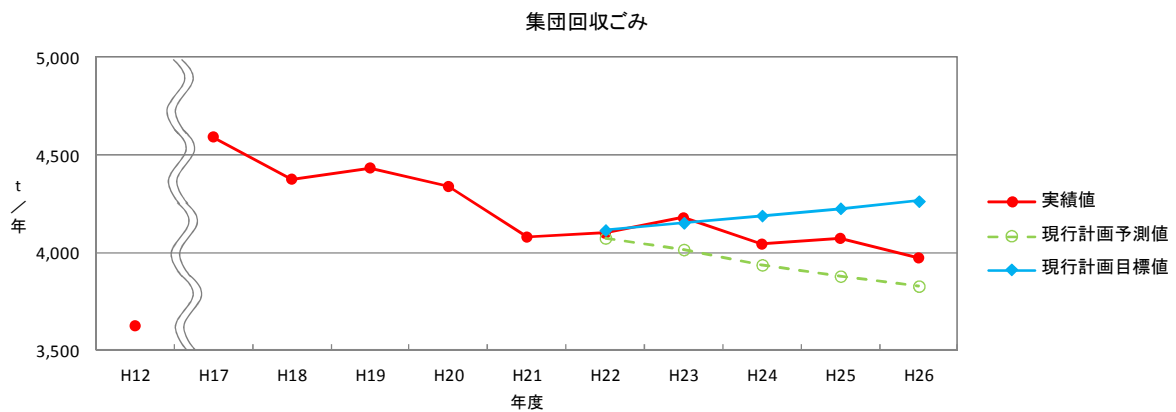
#### ④ 集団回収ごみ

(目標設定値)

基準年度 平成 21 年度に対して，目標年度 平成 32 年度に 10%増

(実績値)

平成 21 年度から減少傾向が一旦，止まったが，平成 23 年度以降に緩やかな減少傾向にあるため，現行計画予測値よりは良好であるが，平成 26 年度に未達成であり，平成 32 年度においても達成は，困難と考えられる。



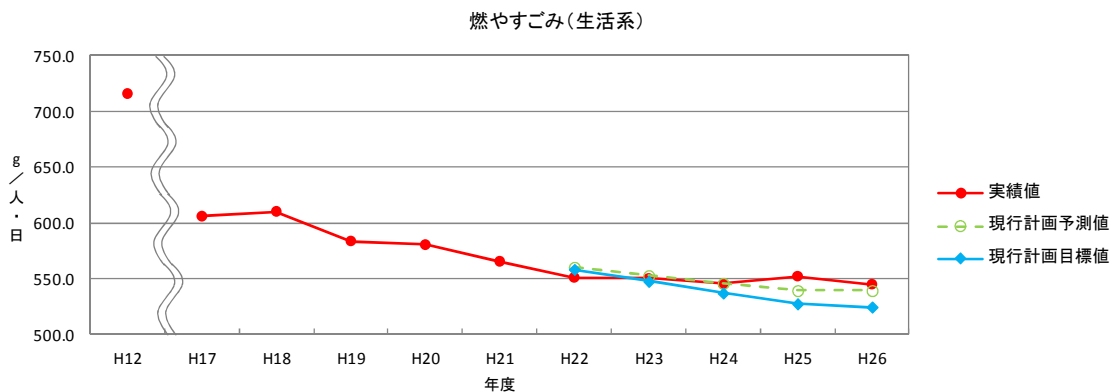
#### (2) 国及び兵庫県における目標値の達成状況

国及び兵庫県が定めている目標値と，国，兵庫県及び芦屋市の達成状況をまとめたものを次頁に示す。

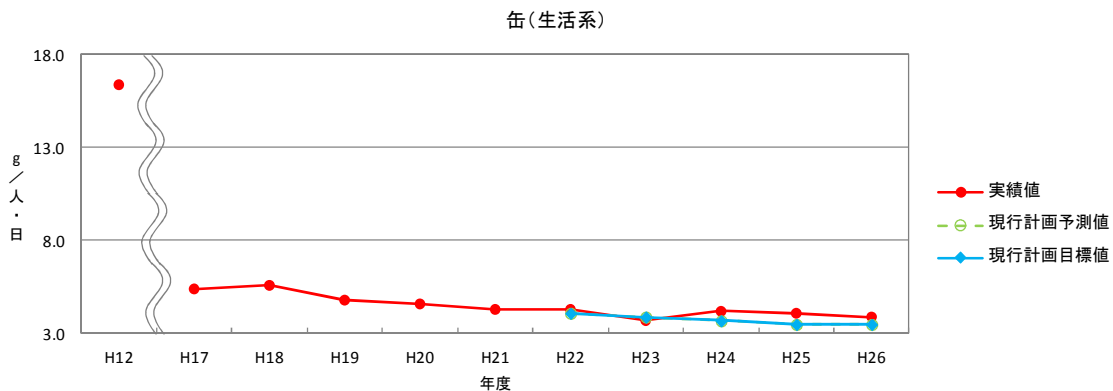
表 目標達成状況

項目		目標値	国(H25年度現在)		兵庫県(H25年度現在)		
			現状	達成状況	現状	達成状況	
廃棄物処理法の基本方針 基準年度:平成19年度 目標年度:平成27年度	排出量	約5%減	11.7%減	達成			
	再生利用量	25%	20.7%	未達			
	最終処分量	約22%減	28.5%減	達成			
循環型社会形成推進基本計画 基準年度:平成12年度 目標年度:平成27年度	排出量原単位	約10%減	17.9%減	達成			
	生活系ごみ原単位 (集団回収, 資源ごみ除く)	約20%減	20.2%減	達成			
	事業系ごみ排出量	約20%減	27.1%減	達成			
兵庫県廃棄物処理計画 基準年度:平成15年度 目標年度:平成27年度	排出量原単位 (集団回収除く)	生活系	637.0g/人・日			577.1g/人・日	達成
		事業系	286.0g/人・日			311.8g/人・日	未達
		計	923.0g/人・日			888.9g/人・日	達成
	再生利用率	25%			16.7%	未達	
	最終処分量	31%減			37.9%	達成	
項目		目標値	芦屋市(H25年度現在)		芦屋市(H26年度現在)		
			現状	達成状況	現状	達成状況	
廃棄物処理法の基本方針 基準年度:平成19年度 目標年度:平成27年度	排出量	約5%減	5.0%減	達成	7.8%減	達成	
	再生利用量	25%	16.8%	未達	16.9%	未達	
	最終処分量	約22%減	2.4%減	未達	11.4%減	未達	
循環型社会形成推進基本計画 基準年度:平成12年度 目標年度:平成27年度	排出量原単位	約10%減	16.8%減	達成	19.4%減	達成	
	生活系ごみ原単位	約20%減	26.6%減	達成	27.7%減	達成	
	事業系ごみ排出量	約20%減	-4.2%減	未達	2.2%減	未達	
兵庫県廃棄物処理計画 基準年度:平成15年度 目標年度:平成27年度	排出量原単位 (集団回収除く)	生活系	637.0g/人・日	645.9g/人・日	未達	634.1g/人・日	達成
		事業系	286.0g/人・日	298.4g/人・日	未達	279.6g/人・日	達成
		計	923.0g/人・日	944.3g/人・日	未達	913.7g/人・日	達成
	再生利用率	25%	16.8%	未達	16.9%	未達	
	最終処分量	31%減	4.6%減	未達	13.4%減	未達	
芦屋市一般廃棄物処理基本計画 基準年度:平成12年度 目標年度:平成27年度	排出量原単位	約25%減	16.8%減	未達	19.4%減	未達	
	生活系ごみ原単位	約30%減	26.6%減	未達	27.7%減	未達	
	事業系ごみ排出量	約20%減	-4.2%減	未達	2.2%減	未達	

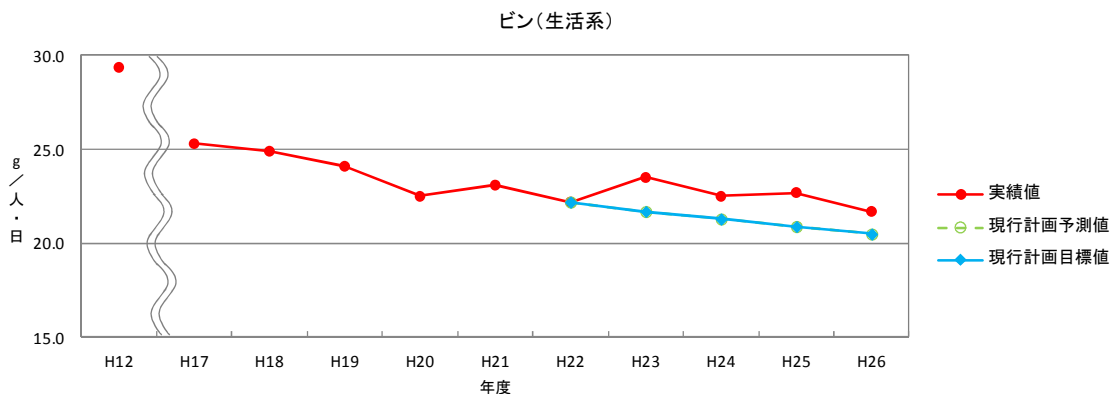
## 2 ごみ種類別の状況



※ 平成 22 年度から、減量化が頭打ちになっている。

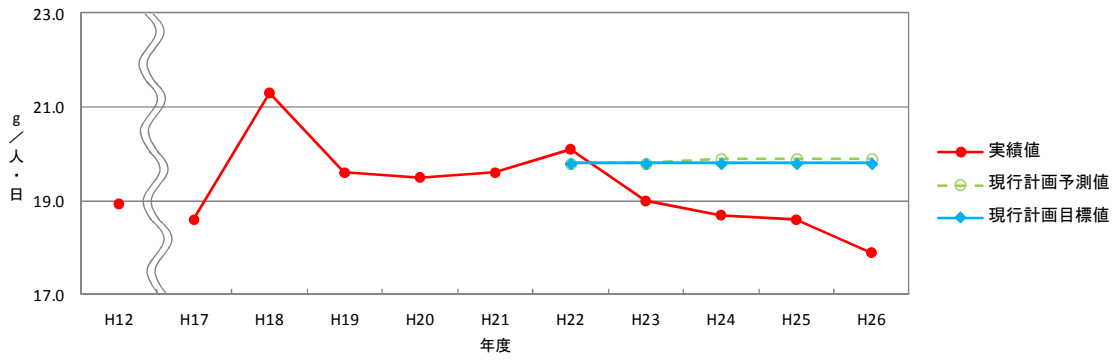


※ 現行計画予測値，目標値とほぼ同様に推移している。



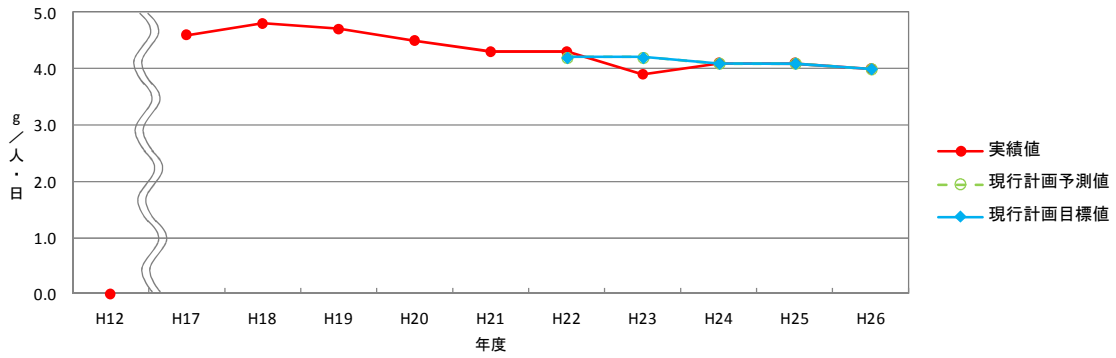
※ 平成 20 年度から、増減を繰り返しており、現行計画予測値，目標値に対して、達成できていない。

燃やさないごみ(生活系)



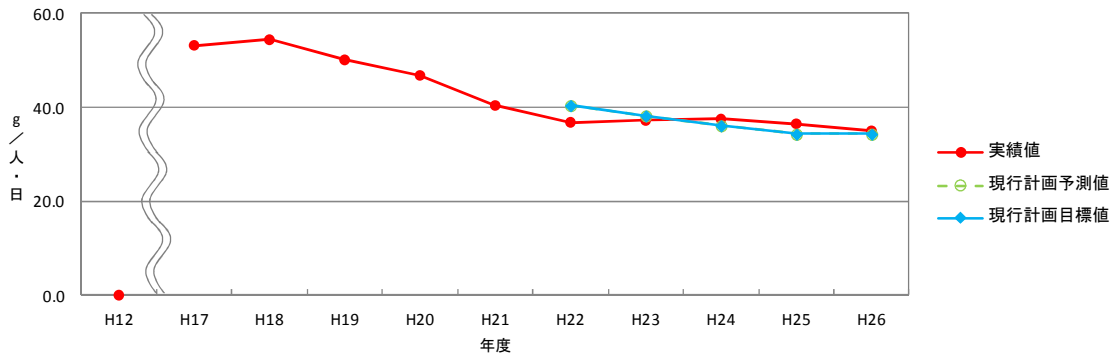
※ 平成 22 年度から，減少傾向にあり，目標も達成している。

ペットボトル(生活系)



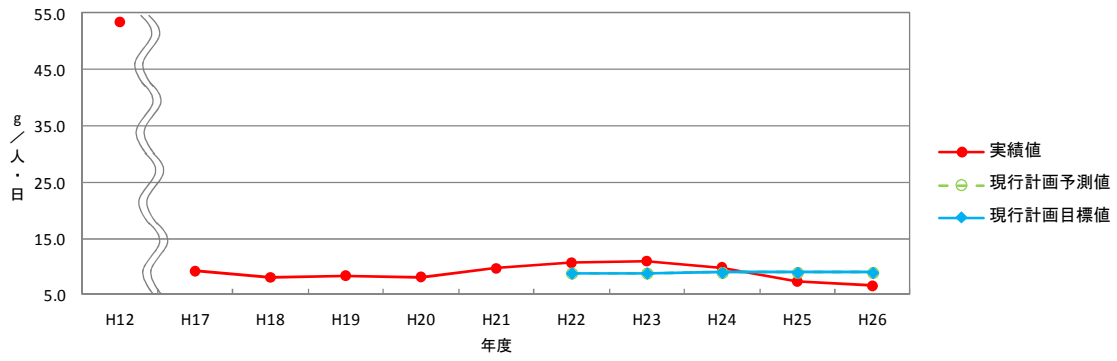
※ 現行計画予測値，目標値とほぼ同様に推移している。

紙資源(生活系)



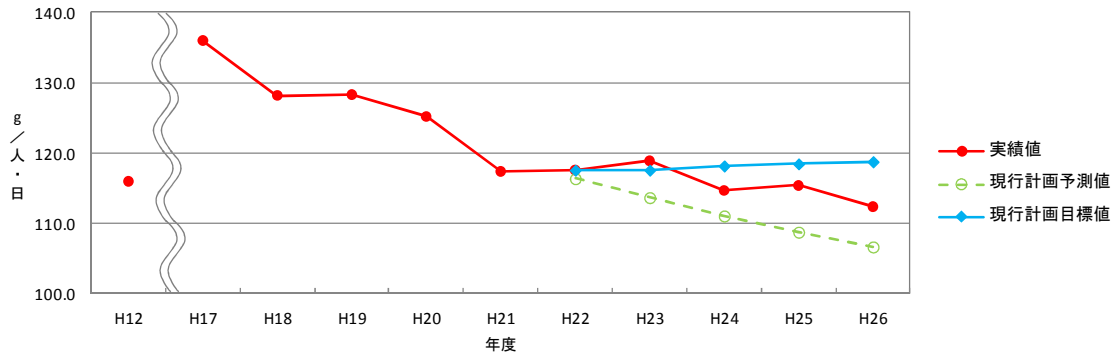
※ 現行計画予測値，目標値とほぼ同様に推移している。

粗大ごみ(生活系)



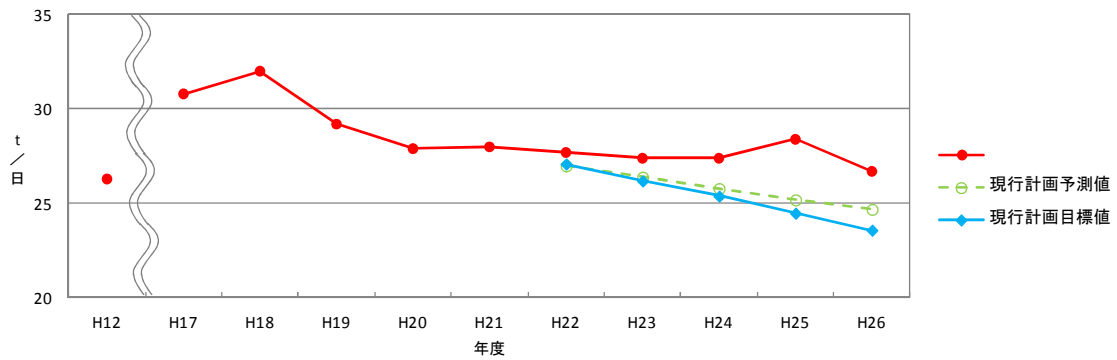
※ 平成 23 年度から，減少傾向にあり，目標も達成している。

集団回収(生活系)

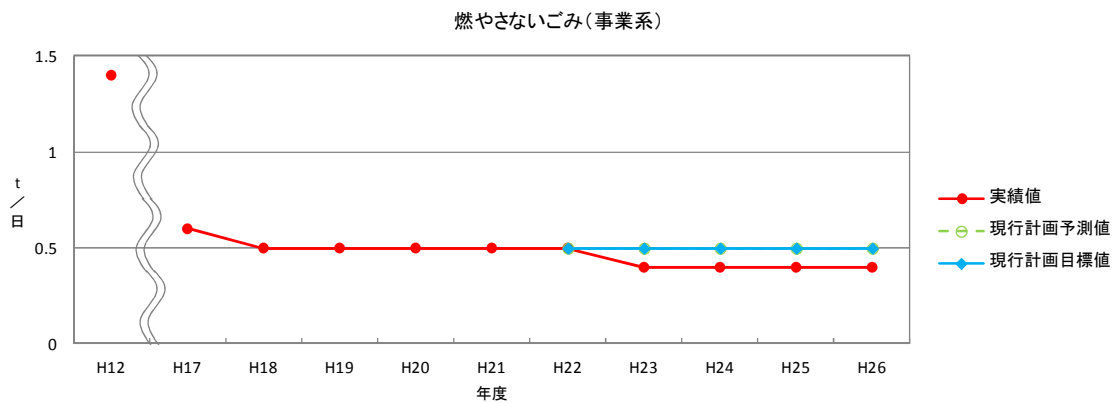


※ 3 頁に記述のとおり。

燃やすごみ(事業系)



※ 2 頁に記述のとおり。



※ 平成 23 年度から，一定推移しており，目標も達成している。

### 3 まとめ

平成 26 年度の実績値が現行計画目標値を達成しているものもあるが，総合的に検証し，新たな目標を設定する必要がある。

以 上